



学校だより

学校教育目標

6月号 (第569号)

令和5年 5月31日

横浜市立すみれが丘小学校

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづけるすみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

子どもたちの力を育む児童会活動

副校長 阿部 一平

青々と茂った木々の緑を吹き抜ける風に、爽やかな心地よさを感じる季節になりました。子どもたちが体育の時間に一汗かいたあとにごくごくと水筒を飲んでいる姿が清々しいです。

新型コロナウイルスが5類に位置付けられたことを受け、5月8日以降は、活動場面に応じて少しずつマスクを取って活動する児童の姿が見られるようになってきました。一方で、長いマスク生活が続いたことでこれまでの習慣から抜け出すことが難しい児童もいます。お知らせしています通り、学校でのマスクの着用については今後も個人の主体的な選択を尊重していきます。※

そんな中、これまで制限があった児童会活動がもとの姿を取り戻してきました。給食委員の児童は、4時間目が終わると同時に給食室に駆け付け、3年間中止になっていた食器類の受け渡しサポートを再開しました。「〇年〇組さんがきました！」という児童の元気な掛け声に、調理員さんもとても嬉しい表情を見せていました。また、児童代表委員会では、4年生から6年生までの代表委員が一堂に会し、今年度の学校スローガン「楽しんで 一致団結 すみれっ子」にふさわしい取組を決めようと、熱心に意見を交わしていました。先日の1年生を迎える会でも、運動会でもそうですが、「自分たちはこんな活動にしたい！」という思いや願いがあって初めて、子どもたちが主役の「すみれっ子が輝く」活動になります。そして、こうした活動の中では、子どもたちは大人が驚くような成長を見せます。

コロナ禍にあってしばらくは、教師が教育活動を主導せざるを得ない場面がありました。児童会活動や学校行事は子どもたちの力を大きく育てます。子どもたちが思いを存分に出し合い、伸び伸びと力が発揮できるように、私たち教職員は、これからも子どもたちのよき伴走者でありたいと思います。

5月の学校の様子は、学校ホームページにてご覧ください。日々、更新しています。



学校ホームページの「学校からお知らせ」や「非常変災時の対応」のコーナーでは、皆さまからよくお問合せをいただく“安全教育振興会”や“悪天候時の登校の可否”“ビオラ応援団の活動”など様々な情報を紹介しています。必要に応じてご確認ください。

- すみれニュース
- 学校からのお知らせ
- 校長室より
- 非常変災時の対応について
- 【令和5年度】新入生保護者様のページ

※熱中症発生のリスクが高い状況では、熱中症防止を最優先とし、マスクを外すように指導する場面もあります。